

# 関節リウマチに対する大防風湯の有用性

香川 英生\*, 北本 真弓\*\*

関節リウマチ(RA)10症例に対して、漢方治療として大防風湯を使用したところ、6症例で臨床症状、臨床データの改善が認められ有効と判定した。有効例ではさらに気虚スコア、血虚スコアとも著明に改善し、大防風湯がこれら気虚、血虚の証を呈する患者に特に効果が期待されることが示唆された。また大防風湯によるRAに対する治療は、できるだけ早期の段階から開始するのが望ましいと考えられた。

## 緒 言

関節リウマチ(RA)10例に対する大防風湯の有用性を検討した。臨床症状、データの改善度に加えて、証の概念である気虚、血虚をスコア化し、大防風湯投与前後での比較をした。その結果、多くのRA患者では全身的には虚証を呈し、大防風湯使用により気虚スコアおよび血虚スコアの改善が認められたが、特に気虚スコアに著明な改善が認められた。またRAの臨床所見も著明な改善例を含めて、約6割に有効性が認められた。

以上より大防風湯は気虚、血虚の状態を改善しながら関節リウマチ患者の病態改善に有用である可能性が示唆された。

## 対象と方法

症例は表1に示したRA患者10例で、いずれも米国リウマチ協会診断基準を満たした(男性1例、女性9例、平均年齢；59.5歳、RA罹患年数；1~16年、病期進行度；stageI-II、機能障害度；classI-II、CRP；初診時症例3を除きすべて陰性、比較的初期のRA患者が中心)。いずれの症例も疼痛時に非ステロイド系抗炎症薬(NSAIDs)を頓服使用している以外は、抗リウマチ薬(DMARDs)やステロイド剤は一切使用していない。この条件を満たし、

\*医療法人香川クリニック(大阪府寝屋川市)

\*\*きららみらい薬局(大阪府寝屋川市)

さらに大防風湯(TJ-97)10.5g/日分3にて継続服用している10例を対象に観察を行った。

検討項目として、臨床データではリウマチ因子(RF)、抗ガラクトース欠損IgG抗体(CA-RF)、血清補体値、血沈をそれぞれ大防風湯投与前後で比較するとともに、臨床症状の変化も参考にした。また気虚スコア(表2)および血虚スコア(表3)の大防風湯投与前後における推移も検討した。

## Key Words

関節リウマチ  
大防風湯  
気虚  
血虚

## 結 果

### 1) 大防風湯服用前後での臨床症状および臨床データの変化

表4に示すように、臨床症状が改善(自他覚的に)した6例を有効例、改善しない4例を無効例とした。いずれも服用前からCRPはほぼ陰性でRAの活動性は低く、服用後もその傾向に変化はなかった。有効例では無効例と比較して、血清補体値とCA-RFで有意な低下が認められた( $p<0.01$ )。一方、リウマチ因子、血沈、CRPには有意な差は認められなかった。大防風湯服用期間においても有意な所見は得られなかった。

### 2) 大防風湯服用前後での気虚スコア・血虚スコアの変化

気虚スコアについては、大防風湯服用前スコアで気虚と診断可能な症例は無効例で4例中2例(50%)、有効例で6例中5例(83%)であった。スコ